



## 市長公約「こどもセンター」の概要は？



## 避難所となる学校の体育館にエアコンを！



## 物価高騰対策はスピード感をもって実施！



**Q** 「こどもセンター」の設置にあたっては、現在市内にある2か所のこどもセンターや、25か所の子育てひろばとの関係を考えるべきだと思うがどうか。また、すでに地域で活動している各団体等と連携すべきだと考えるがどうか。

**A** 「こどもセンター」は、子どもの遊び場や子育て相談の機能はもとより、地域の様々な団体と協働し、世代間交流を通じた地域活性化を図ることを目的とし、13区内において令和8年度中に1か所程度設置する予定である。現在ある子育てひろばの機能を持ちつつ、さらに広いスペースを確保したい。また、既存のこどもセンターなどとの連携や、地域で活動する各団体等の皆さんのご意見をお聞きし、地域に親しまれ、多くの方が訪れる施設にしたい。

### 地域独自の予算事業の状況は？

**Q** 令和8年度事業への提案状況はどうか。

**A** 新規事業が34件、継続事業が160件であり、制度開始以降最多となる提案を受け付けた。

**Q** 地域の団体が地域のために行う活動に対し、より柔軟に支援を行うべきと考えるがどうか。

**A** 収益性のない取組において自主財源の確保が困難であること、提案の締切りが早いことなど、複数の課題があることから、今後は制度全般に関して様々な角度から検証していく。

**Q** 市長の公約に、「避難所へのエアコン設置」がある。当市の指定避難所の半分以上が学校体育館であり、有事の際は多くの市民が避難するが、エアコンが設置されていない。避難所、また、子どもたちの学びの場の双方の視点で考えてほしい。

また、国は体育館にエアコンを設置するための有利な補助金を創設した。防災部局と教育委員会が連携してエアコンの設置を進めてはどうか。

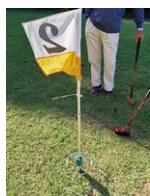


**A** 避難所となる体育館へのエアコン設置は公約であり、避難者や児童・生徒の体調管理は非常に重要と考えている。補助金や様々な手法を使い、避難所の環境改善を進めていきたい。

### グラウンド・ゴルフで高齢者の健康増進を！

**Q** グラウンド・ゴルフは「高齢社会における生きがいとしてのスポーツ」と言われている。当市では福祉交流プラザ内の広場をグラウンド・ゴルフ場としたが、認知度が低く利用頻度が少ない。看板やトイレ、芝などを整備し、より広く周知してはどうか。

**A** 除草、草刈りを増やすとともに課題等を整理し、市民の健康増進のため検討したい。



**Q** 国は物価高騰対策として、自治体が幅広く使途を決められる重点支援地方交付金の拡充を決定した。選べるメニューとして、おこめ券やプレミアム商品券、一般家庭向けの水道料金減免や学校給食費の負担軽減、事業者向けの光熱費支援、賃上げ環境の整備などが提示されたが、どれを選択するのか。

**A** 生活者支援と事業者支援の両面から物価高騰対策を速やかに実施するため、検討している。

**Q** 特に注目を集めているおこめ券は、500円の額面で60円程度の手数料が取られ実質440円となることから、お米券を選ばない自治体も増えているが、おこめ券をどのように評価しているのか。

**A** 採用するかどうか検討している。

**Q** 市民生活を直接助ける政策として、プレミアム商品券、灯油購入費の補助、水道料金減免を積極的に採用すべきと考えるがどうか。

**A** 十分に検討し、子育て世帯、収入の低い世帯の支援を重点的に行いたい。

**Q** 灯油は冬場に使うものであるため、購入費を補助する場合はスピード感が必要と考えるが、市議会臨時会を招集するなど、対応を早めることを視野に入れているのか。

**A** できるものから速やかに実施していく。